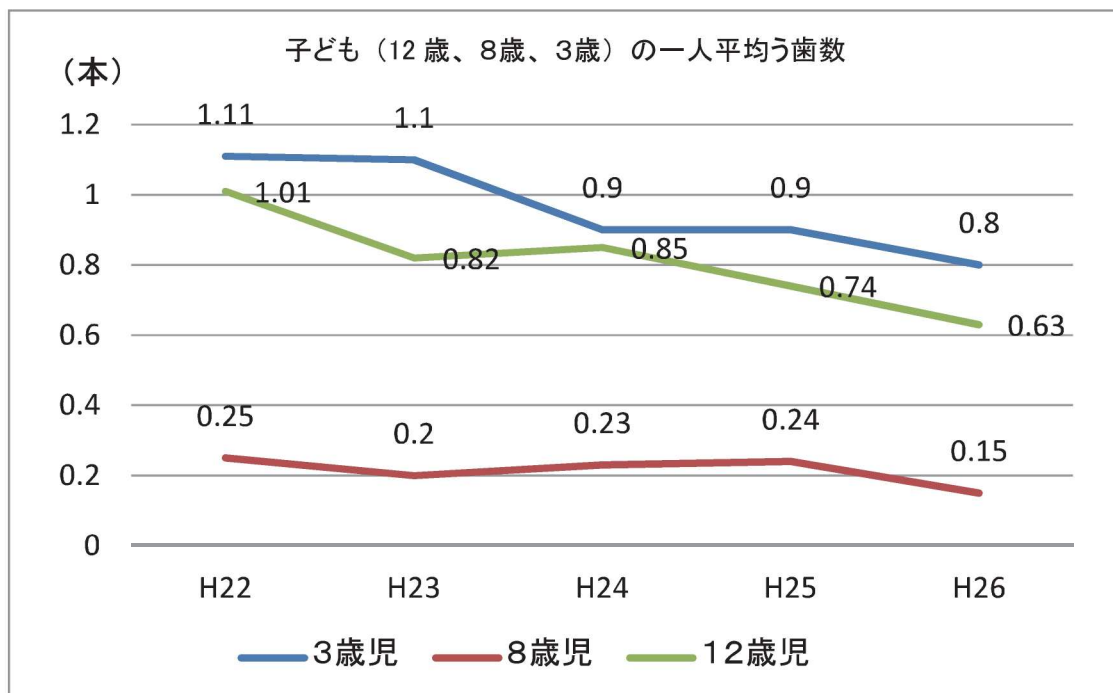


## 4 歯・口腔

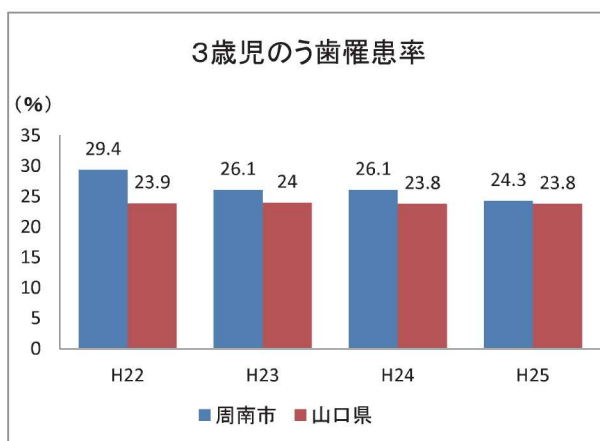
歯と口腔の健康は、食べる喜び、話す楽しみを保つ上で、重要な役割を果たしています。生涯を通じて歯科疾患を予防し、口腔機能の維持・向上を図ることは、健康寿命の延伸や生活の質の向上に大きく関係しています。

### 現状

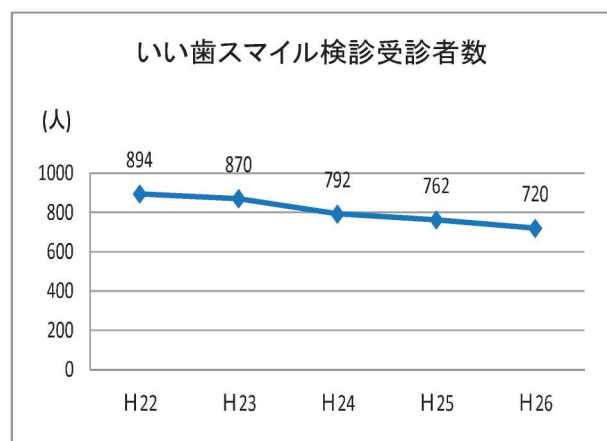
- 子どもの一人あたりの歯数は、年々減少傾向にあるが、3歳児の歯罹患率は24.3%であり、県平均に比べ罹患率が高い。
- いい歯スマイル検診受診者は、約9割に歯周疾患等の所見がある。
- この1年間に歯科検診を受けたことがないが、今後受けたい人は42.1%である。
- 若い世代（19～39歳のいい歯スマイル検診）の受診者数は減少している。



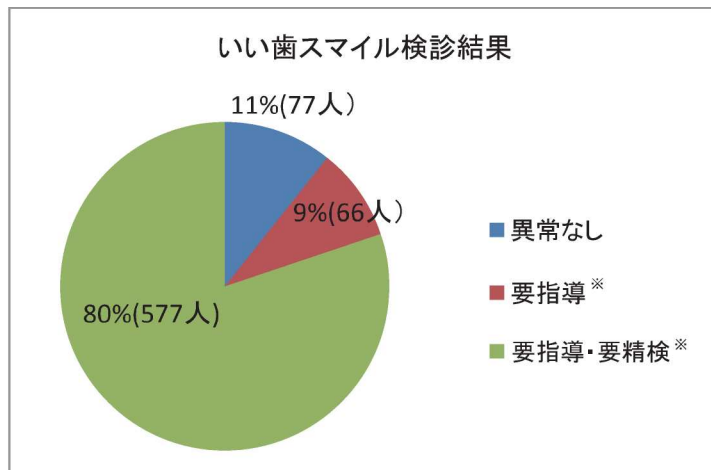
資料：周南市保健事業の概要、「山口県子どもの歯科保健統計」山口県歯科医師会



資料：山口県の母子保健



資料：周南市保健事業の概要



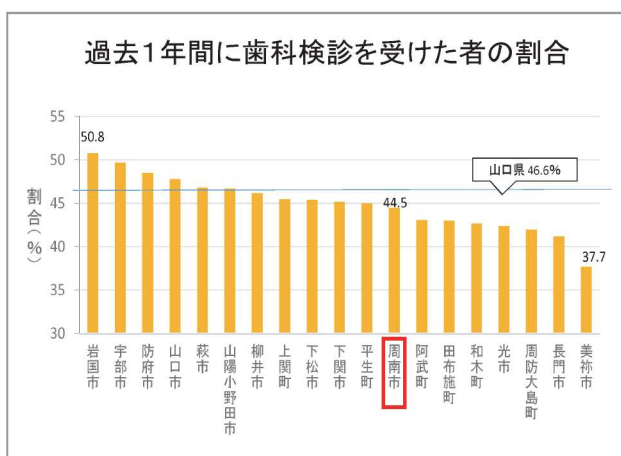
※【要指導】

所見が見られるが指導を受ければ改善する状況。

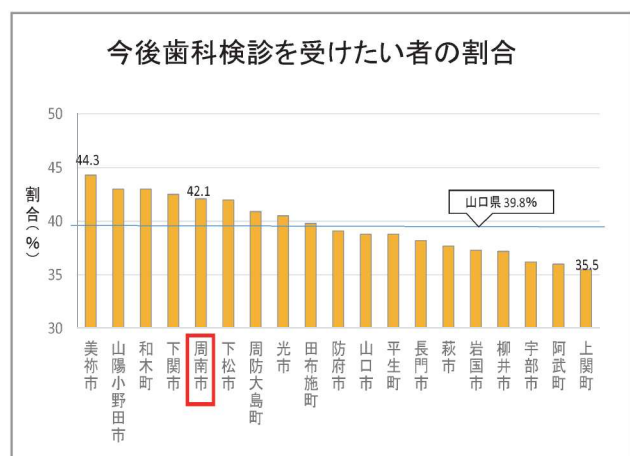
※【要指導・要精検】

歯石除去やう歯治療・歯周治療等なんらかの処理（治療）が必要である

資料：H26 周南市いい歯スマイル検診結果



資料：H26 健康づくりに関する県民意識調査



資料：H26 健康づくりに関する県民意識調査

## 課 題

- 乳歯のむし歯は永久歯にも影響を及ぼすため、幼児期におけるむし歯予防の意識づけなど取り組みの強化が必要である。
- 歯科検診受診者の多くが歯周疾患であることから、歯や口腔の健康維持に必要な知識や清掃方法等のセルフケアについて普及啓発を行う必要がある。
- 受診の必要性を感じていても、歯科検診を定期的に受診している人は少ないため、若い世代（20～30歳代）を中心に、受診のきっかけづくりや受診しやすい環境づくりが必要である。

## 主な施策

- むし歯や歯周疾患の予防
- 歯科検診の受診率向上

## 行動目標

- ①子どもの頃から、歯や口腔に関心を持ち、むし歯や歯周疾患を予防しましょう。
- ②若い頃から定期的に歯科検診を受け、口腔内を良好に保ちましょう。

## 取組

### ●一人ひとりの取組

- ・食後の歯みがきを習慣づけます。
- ・歯ブラシやデンタルフロス等の清掃用具を適切に使用します。
- ・若い頃から定期的に歯科検診を受け、良好な口腔を維持します。

### ●地域・関係団体の取組

- ・保育所、幼稚園、学校は、定期的に歯科健康診査を行い、歯の健康の重要性や正しい歯みがきの方法を教えます。
- ・保育所、幼稚園、学校は、希望者にフッ化物洗口を実施します。
- ・母子保健推進員や食生活改善推進員は、地域活動を通じて、歯や口腔の健康の重要性や歯科検診について周知します。
- ・歯科医療機関は、歯や口腔の健康状態に応じた保健指導を行います。
- ・企業・事業所は、歯や口腔の健康の重要性や歯科検診について周知します。

### ●市の取組

- ・歯や口腔について相談ができる場を定期的に設けます。
- ・保育所、幼稚園、学校、地域において、歯科健康教育を実施します。
- ・よい歯のコンクールを通じ、むし歯予防の意識づけや啓発を行います。
- ・若い世代（20～30歳代）へ歯科検診の必要性を周知し、受診しやすい仕組みをつくります。



## 主な事業

事業等	概要
歯科相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児を対象にした育児相談や成人を対象とした健康づくり相談会等で、個別歯科相談を実施します。</li> </ul>
歯や口腔の健康に関する健康教育・出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児を対象に、保健センターや子育て支援センター等で、歯みがき学級を実施します。</li> <li>・保育所、幼稚園、学校において健康教育を実施します。</li> <li>・成人を対象に公民館等において、歯科衛生士による講話を実施し、歯や口腔の知識を周知するとともに、歯科検診の必要性を啓発します。</li> <li>・企業・事業所等において、働く世代への歯科医師等による講話を実施し、歯や口腔の知識を周知するとともに、歯科検診の必要性を啓発します。</li> </ul>
幼児の歯科健診	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児歯科健康診査及び3歳児歯科健康診査において、歯科健康診査や保健指導を行います。</li> </ul>
成人の歯科検診	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の歯周疾患予防を目的に19歳～39歳を対象とした、いい歯スマイル検診を実施します。</li> <li>・子育て世代には、育児相談や乳幼児健診等の機会を通じて、歯科検診の周知を行います。</li> <li>・80歳になっても20本以上自分の歯を保つ（8020（ハチマルニイマル）運動）ことを目的に、節目年齢（40歳、50歳、60歳、70歳）を対象に、歯周疾患検診を実施します。</li> </ul>
フッ化物洗口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所、幼稚園、学校において、フッ化物洗口を行います。</li> </ul>
親と子のよい歯のコンクール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児歯科健康診査において、むし歯のない児のうち、口腔状態の良好な親子を対象に、コンクールを行います。</li> </ul>

## 評価指標

指標	対象	現状 (H26)	目標	出典
う歯罹患率	3歳児	24.3%	20.0%	山口県の母子保健
一人平均う歯数	12歳児	0.63 歯	0.5 歯以下	山口県子どもの歯科保健統計
いい歯スマイル検診受診者数	19歳～39歳	720人	1,000人	周南市保健事業の概要
過去1年間に歯科検診を受診した人の割合	20歳～79歳	44.5%	65.5%	健康づくりに関する県民意識調査